

## 【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

## 中国地方整備局管内の港湾における 2019 年のコンテナ取扱貨物量 (速報値)

### ～外貿コンテナ取扱貨物量が過去最高値を更新～

中国地方整備局管内の港湾における 2019 年のコンテナ取扱貨物量は、88.3 万個（前年比－0.1%）と過去最高値を更新した 2018 年と同水準となりました。内訳は、外貿が 56.5 万個（前年比＋3.4%）と過去最高値を更新、内貿は 31.8 万個（前年比－5.9%）となりました。特に広島港では、自動車部品の外貿コンテナ取扱貨物量が大きな伸びを示しました。

## 【概要】

- 外貿コンテナ取扱貨物量は、56.5 万個（前年比＋3.4%）と 2018 年の 54.7 万個を抜き、過去最高値を更新しました。
- 内貿コンテナ取扱貨物量は、31.8 万個（前年比－5.9%）となりました。また、国際フィーダー取扱貨物量<sup>※3</sup>も 18.6 万個（前年比－6.3%）となりました。

## 【調査方法、集計内容】

- 港湾管理者より提供いただいた 2019 年（1～12 月）のコンテナ取扱貨物量（速報値）を中国地方整備局で集計しました。貨物量は速報値であり今後変更する可能性があります。単位は個（20 フィート換算）です。
- 内訳として、外貿コンテナ取扱貨物量、内貿コンテナ取扱貨物量および国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を集計しました。内貿コンテナ取扱貨物量は、国内の 2 地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾などで外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量です。
  - ※1 内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を含む。
  - ※2 長さ 20 フィートのコンテナ 1 本を 1 個としてカウント（長さ 40 フィートのコンテナ 1 本を 2 個としてカウント）。TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とも言う。
  - ※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は港湾管理者に可能な限り調査・提供いただいた。全量を把握できていないため参考値である。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928 (直通) (平日・昼間)  
クルーズ振興・港湾物流企画室長 おか ひでき 岡 英毅 課長補佐 たにもと つよし 谷本 剛

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905 (直通) (平日・昼間)  
計画企画官 にいみ けんご 新見 健吾

## ■ コンテナ取扱貨物量

- 中国地方整備局管内の港湾における令和元年のコンテナ取扱貨物量の速報値は88.3万TEU<sup>※1</sup>であり、対前年同期比で-0.1%減少しています。

(図-1、表-1参照)

※「外貿コンテナ取扱貨物量<sup>※2</sup>」と「内貿コンテナ取扱貨物量<sup>※3</sup>」の合計値を集計しています。(内貿コンテナ取扱量には国際フィーダーコンテナ取扱貨物量<sup>※4</sup>も含む)

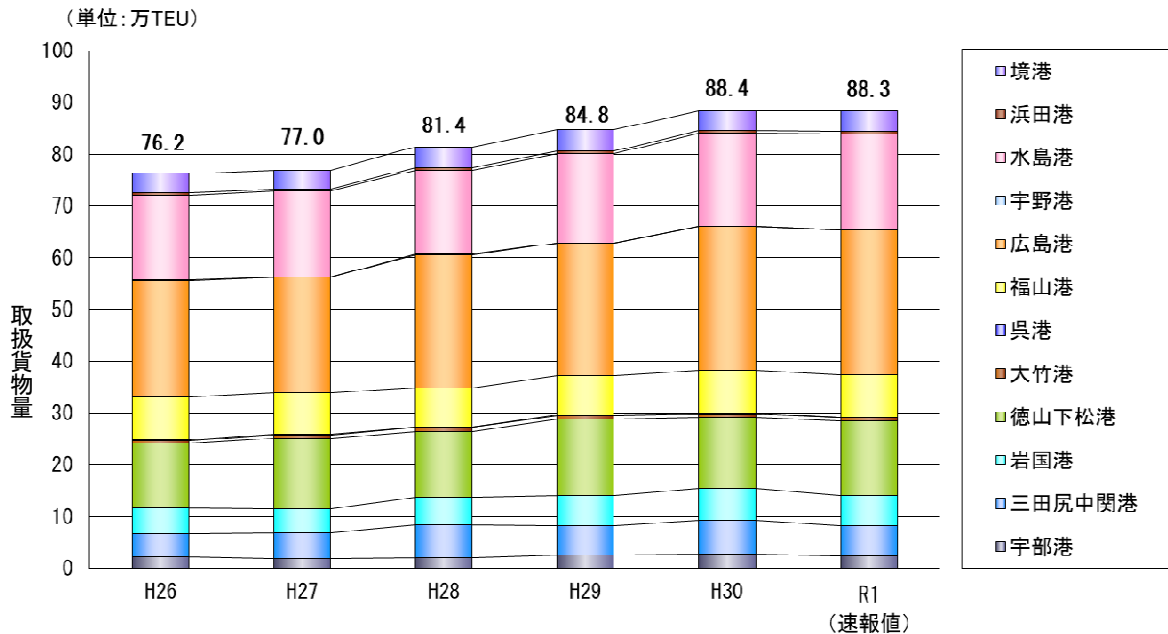


図-1 【コンテナ取扱貨物量の推移】

表-1 【コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成30年			令和元年 (速報値)			平成30年からの増減 (TEU)	平成30年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	39,204	19,478	19,726	38,352	19,281	19,071	▼852	▼2.2%	▼1.0%	▼3.3%
浜田港	4,518	2,237	2,281	5,546	2,741	2,805	1,028	22.8%	22.5%	23.0%
水島港	180,114	90,229	89,885	185,691	93,420	92,271	5,577	3.1%	3.5%	2.7%
宇野港	886	460	426	228	130	98	▼658	▼74.3%	▼71.7%	▼77.0%
広島港	276,891	135,863	141,028	278,663	139,379	139,284	1,772	0.6%	2.6%	▼1.2%
福山港	83,450	41,022	42,428	82,769	41,242	41,527	▼681	▼0.8%	0.5%	▼2.1%
呉港	860	448	412	912	473	439	52	6.0%	5.6%	6.6%
大竹港	7,463	5,982	1,481	6,618	5,173	1,445	▼845	▼11.3%	▼13.5%	▼2.4%
徳山下松港	136,733	70,297	66,436	143,515	73,267	70,248	6,782	5.0%	4.2%	5.7%
岩国港	60,669	29,899	30,770	58,171	28,588	29,583	▼2,498	▼4.1%	▼4.4%	▼3.9%
三田尻中関港	65,750	32,850	32,900	57,915	29,129	28,786	▼7,835	▼11.9%	▼11.3%	▼12.5%
宇部港	27,794	14,158	13,636	24,673	12,813	11,860	▼3,121	▼11.2%	▼9.5%	▼13.0%
合計	884,332	442,923	441,409	883,053	445,636	437,417	▼1,279	▼0.1%	0.6%	▼0.9%

## ■ 外貿コンテナ取扱貨物量<sup>※2</sup>

- 中国地方整備局管内の港湾における令和元年の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は56.5万TEUであり、対前年同期比で3.4%増加しています。〔輸出：3.7%増加、輸入：3.1%増加〕  
(図-2、表-2参照)

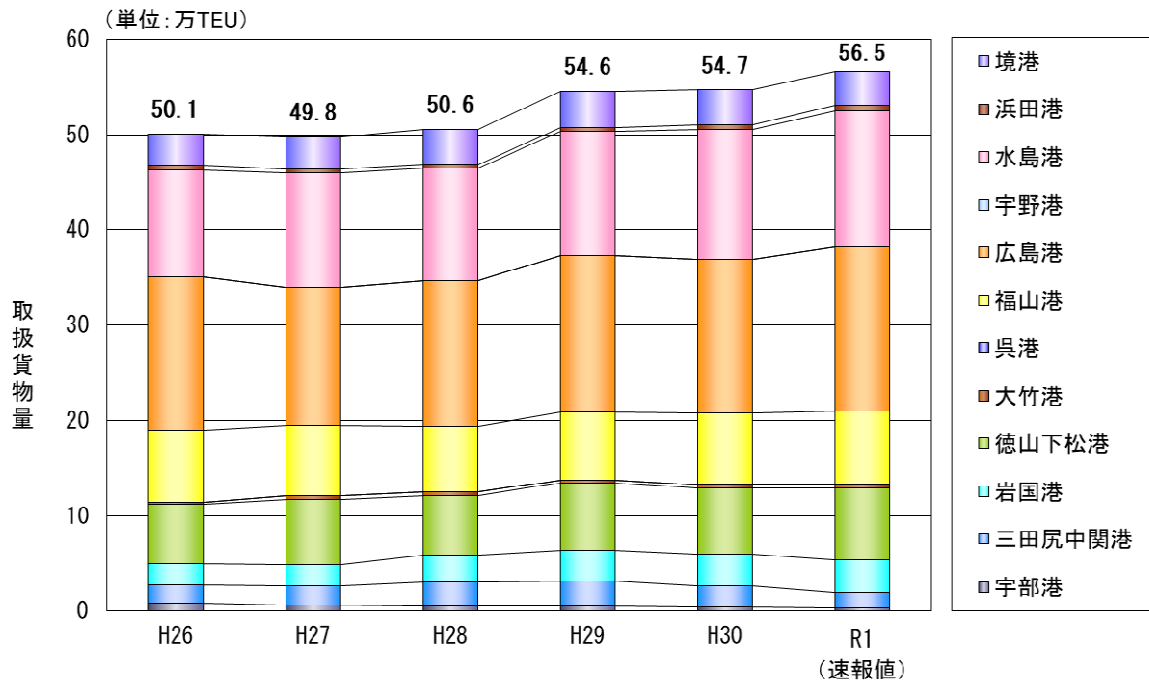


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-2 【外貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成30年			令和元年 (速報値)			平成30年からの増減 (TEU)	平成30年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	36,901	19,478	17,423	35,129	19,281	15,848	▼1,772	▼4.8%	▼1.0%	▼9.0%
浜田港	4,366	2,237	2,129	5,304	2,619	2,685	938	21.5%	17.1%	26.1%
水島港	136,191	72,076	64,115	143,080	73,981	69,099	6,889	5.1%	2.6%	7.8%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
広島港	161,973	81,088	80,885	172,742	87,773	84,969	10,769	6.6%	8.2%	5.0%
福山港	74,734	34,657	40,077	76,683	36,747	39,936	1,949	2.6%	6.0%	▼0.4%
呉港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
大竹港	4,078	2,990	1,088	3,921	2,631	1,290	▼157	▼3.8%	▼12.0%	18.6%
徳山下松港	69,300	46,479	22,821	75,062	50,325	24,737	5,762	8.3%	8.3%	8.4%
岩国港	32,639	21,418	11,221	33,743	20,954	12,789	1,104	3.4%	▼2.2%	14.0%
三田尻中関港	22,351	11,259	11,092	16,617	8,364	8,253	▼5,734	▼25.7%	▼25.7%	▼25.6%
宇部港	4,306	2,135	2,171	3,193	2,024	1,169	▼1,113	▼25.8%	▼5.2%	▼46.2%
合計	546,839	293,817	253,022	565,474	304,699	260,775	18,635	3.4%	3.7%	3.1%

## ■ 内貿コンテナ取扱貨物量<sup>※3</sup>

- 中国地方整備局管内の港湾における令和元年の内貿コンテナ取扱貨物量の速報値は31.8万TEUであり、対前年同期比で5.9%減少しています。〔移出：5.5%減少、移入：6.2%減少〕  
(図-3、表-3参照)

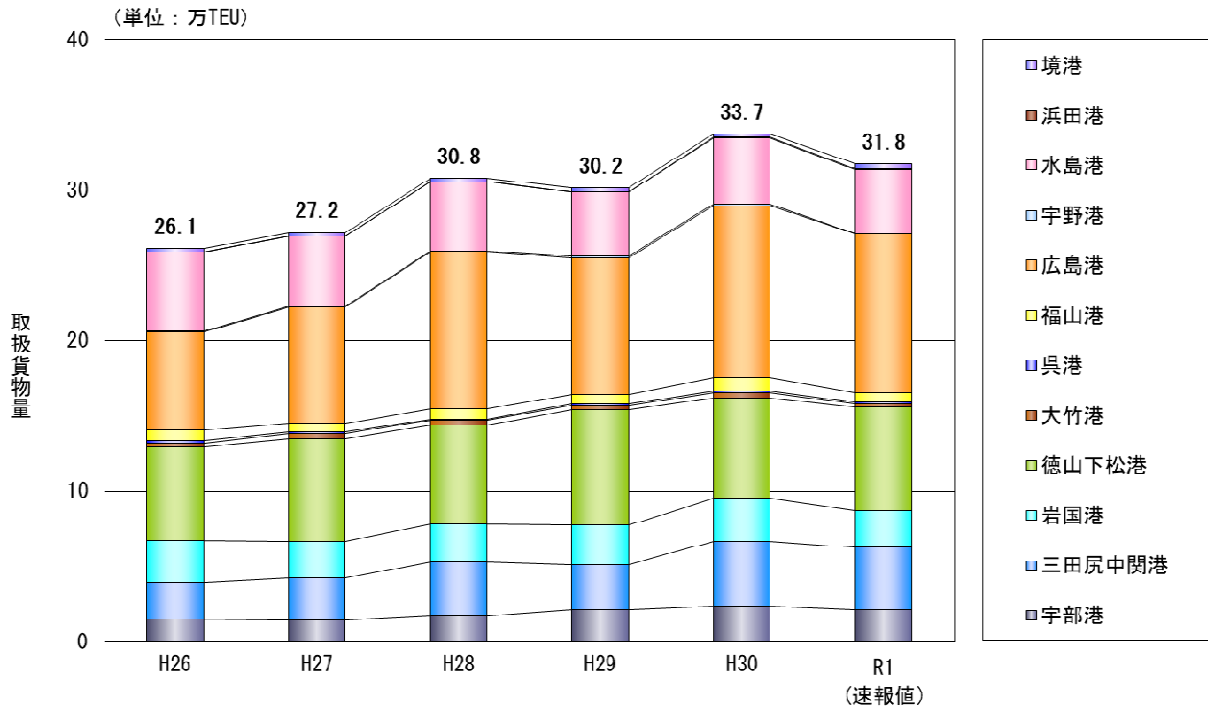


図-3 【内貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【内貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位：TEU)

港湾名	平成30年			令和元年 (速報値)			平成30年 からの 増減 (TEU)	平成30年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	2,303	0	2,303	3,223	0	3,223	920	39.9%	—	39.9%
浜田港	152	0	152	242	122	120	90	59.2%	皆増	▼21.1%
水島港	43,923	18,153	25,770	42,611	19,439	23,172	▼1,312	▼3.0%	7.1%	▼10.1%
宇野港	886	460	426	228	130	98	▼658	▼74.3%	▼71.7%	▼77.0%
広島港	114,918	54,775	60,143	105,921	51,606	54,315	▼8,997	▼7.8%	▼5.8%	▼9.7%
福山港	8,716	6,365	2,351	6,086	4,495	1,591	▼2,630	▼30.2%	▼29.4%	▼32.3%
呉港	860	448	412	912	473	439	52	6.0%	5.6%	6.6%
大竹港	3,385	2,992	393	2,697	2,542	155	▼688	▼20.3%	▼15.0%	▼60.6%
徳山下松港	67,433	23,818	43,615	68,453	22,942	45,511	1,020	1.5%	▼3.7%	4.3%
岩国港	28,030	8,481	19,549	24,428	7,634	16,794	▼3,602	▼12.9%	▼10.0%	▼14.1%
三田尻中関港	43,399	21,591	21,808	41,298	20,765	20,533	▼2,101	▼4.8%	▼3.8%	▼5.8%
宇部港	23,488	12,023	11,465	21,480	10,789	10,691	▼2,008	▼8.5%	▼10.3%	▼6.8%
合計	337,493	149,106	188,387	317,579	140,937	176,642	▼19,914	▼5.9%	▼5.5%	▼6.2%

## コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成31年1月から令和2年3月まで）

（各港湾管理者からのヒアリングを基に、中国地方整備局がとりまとめ）

### 【境港】

- ・平成31年4月11日より新規に韓国（釜山）、中国（上海）を結ぶ定期コンテナ航路が開設されました。（週5便→週6便）
- ・令和元年11月28日より韓国（東海）、ロシア（ウラジオストク）を結ぶ定期貨客フェリー航路が運休となりました。
- ・令和2年度より新規ガントリークレーンの整備（2基目）に着手し、令和4年度に運用開始予定です。

### 【浜田港】

- ・平成31年1月9日よりガントリークレーン（51t吊）の供用を開始しました。
- ・平成31年1月15日より新規に韓国定期コンテナ航路が開設されました。（週1便→週2便）

### 【水島港】

- ・平成31年1月、令和元年6月より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週12便→週10便）

### 【広島港】

- ・令和元年8月、令和2年1月より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週10便→週8便）

### 【福山港】

- ・令和2年1月より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週5便→週4便）

### 【大竹港】

- ・平成31年4月より大竹港利用促進事業支援金制度が創設されました。
- ・令和2年1月より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週2便→週1便）

### 【岩国港】

- ・平成31年4月、令和2年1月より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週3便→週2便）

### 【三田尻中関港】

- ・令和元年8月より博多を結ぶ内貿定期コンテナ航路が廃止されました。

### 【宇部港】

- ・平成31年1月より、韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（週2便→週1便）

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量<sup>※4</sup>

・中国地方整備局管内の港湾における令和元年の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は18.6万TEUであり、対前年同期比で6.3%減少しています。

(図-4、表-4参照)

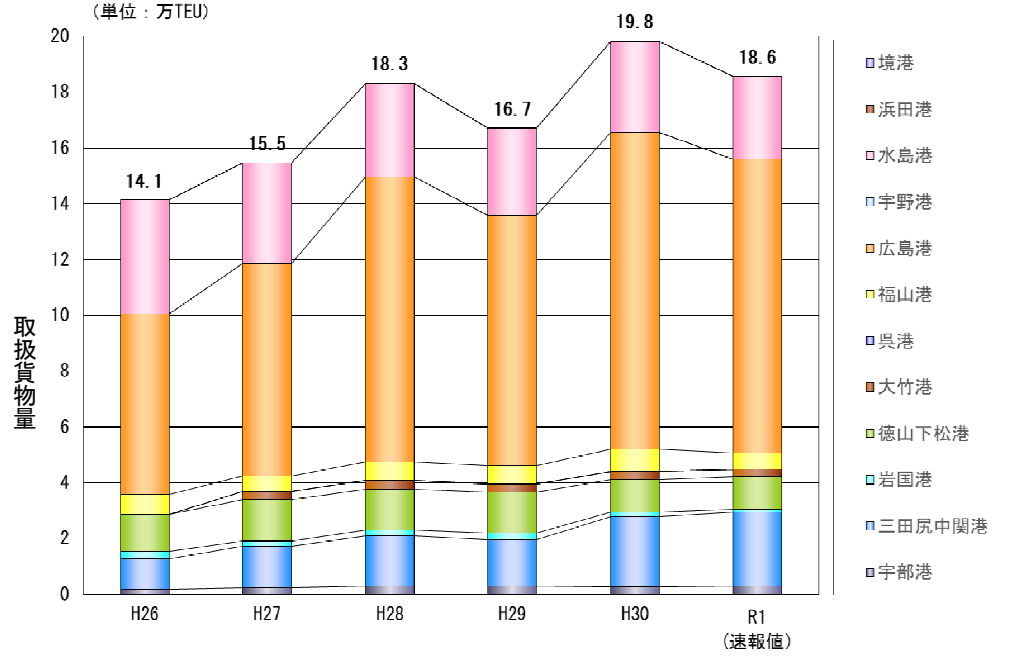


図-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位: TEU)

港湾名	平成30年			令和元年 (速報値)			平成30年からの増減 (TEU)	平成30年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
浜田港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
水島港	32,645	13,422	19,223	29,711	14,081	15,630	▼2,934	▼9.0%	4.9%	▼18.7%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
広島港	113,647	54,695	58,952	105,248	51,604	53,644	▼8,399	▼7.4%	▼5.7%	▼9.0%
福山港	7,997	5,646	2,351	5,952	4,361	1,591	▼2,045	▼25.6%	▼22.8%	▼32.3%
呉港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
大竹港	2,853	2,460	393	2,693	2,538	155	▼160	▼5.6%	3.2%	▼60.6%
徳山下松港	11,672	9,716	1,956	11,712	9,955	1,757	40	0.3%	2.5%	▼10.2%
岩国港	1,738	1,450	288	1,036	669	367	▼702	▼40.4%	▼53.9%	27.4%
三田尻中関港	25,025	19,925	5,100	26,371	19,877	6,494	1,346	5.4%	▼0.2%	27.3%
宇部港	2,671	2,405	266	2,941	2,411	530	270	10.1%	0.2%	99.2%
合計	198,248	109,719	88,529	185,664	105,496	80,168	▼12,584	▼6.3%	▼3.8%	▼9.4%

※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1個の内容積は約 33m<sup>3</sup>です。

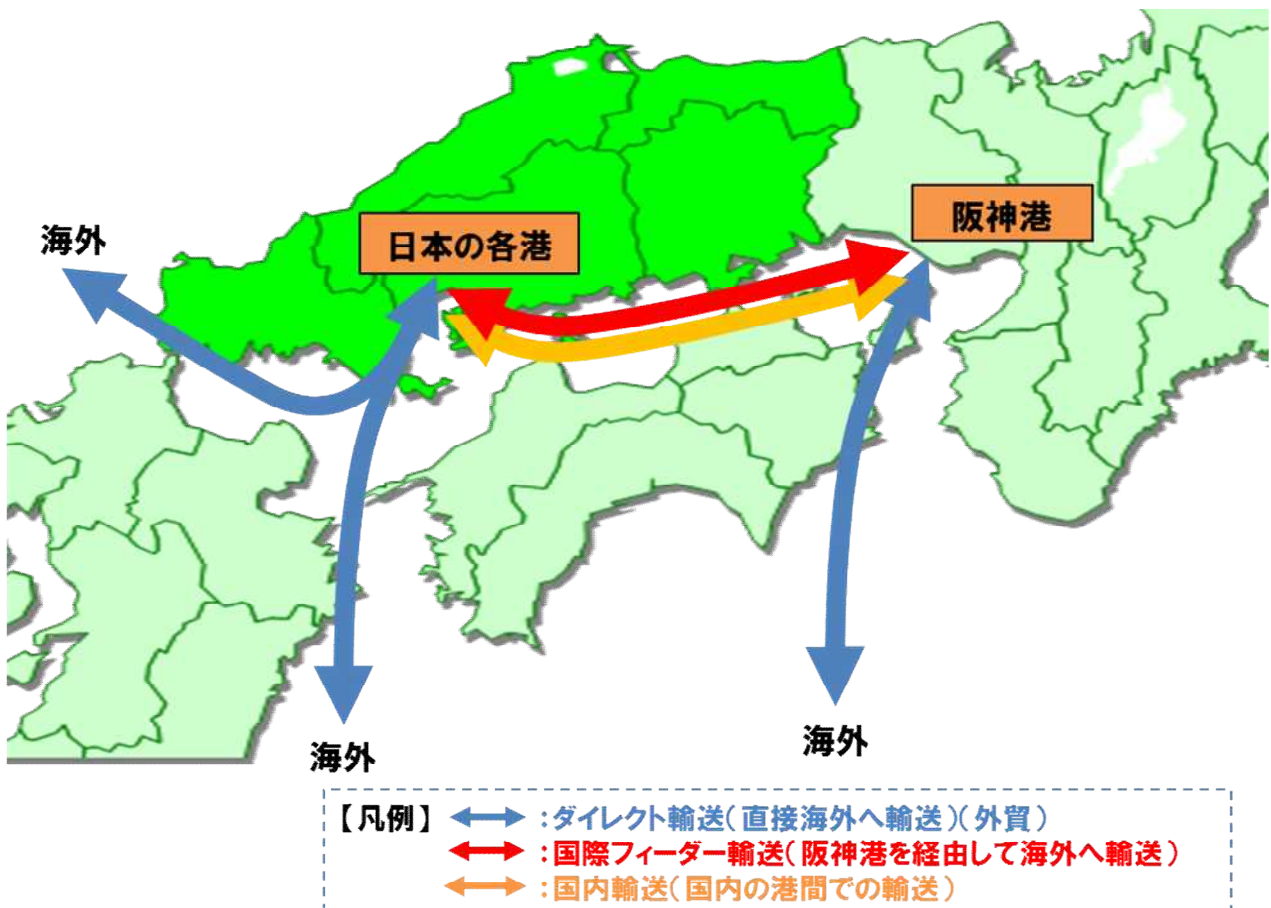


写真 港でのコンテナの取扱状況

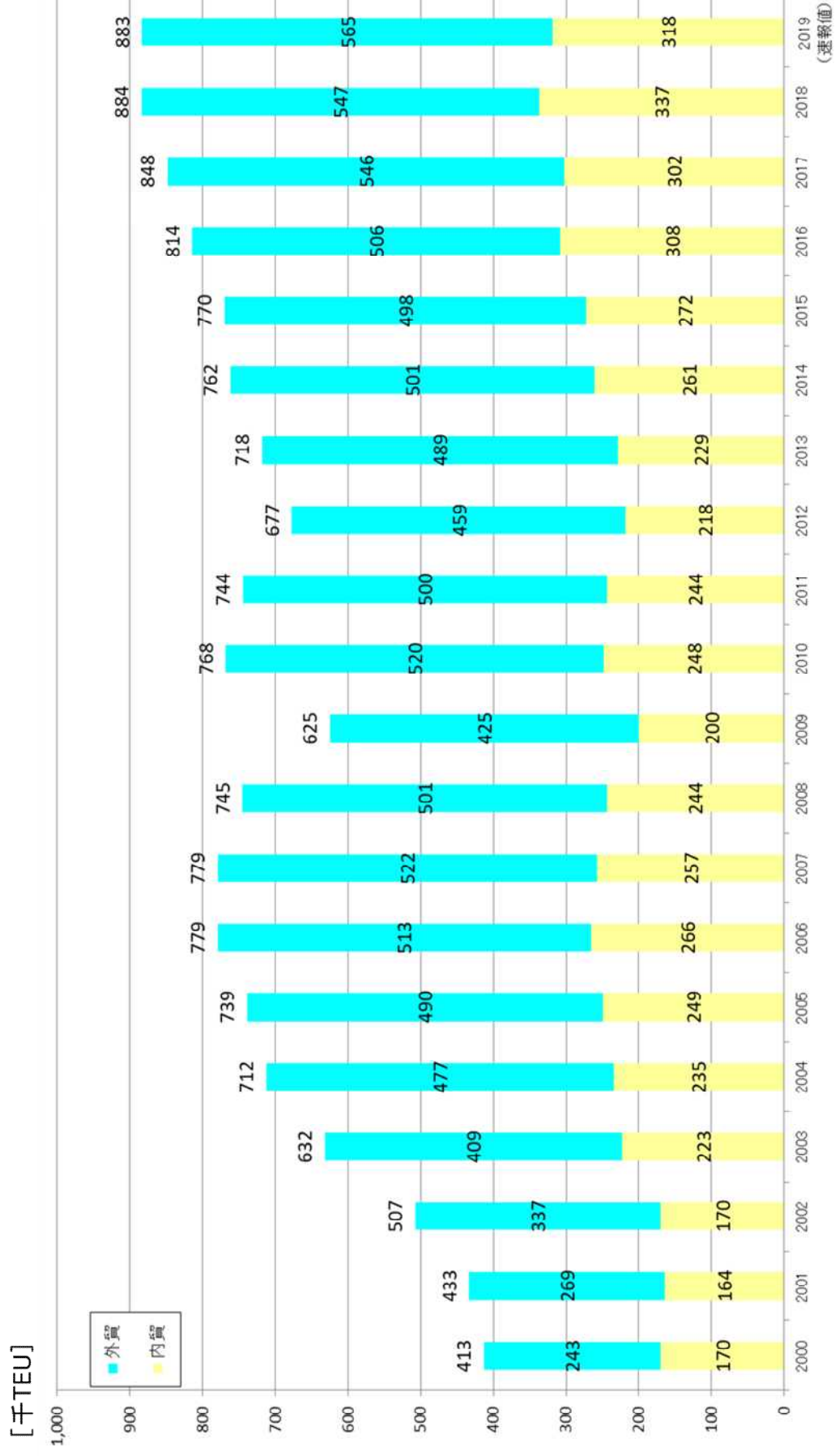
※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本報告中では中国地方整備局管内の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。(下図の「ダイレクト輸送」を参考)

※3 内貿コンテナ取扱貨物量とは、国内の2地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量も含まれます。(下図の「国内輸送を参考」)

※4 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方整備局管内の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。(下図の「国際フィーダー輸送」を参考)



# (参考)中国地方整備局管内のコンテナ取扱貨物量推移



出典：2000～2016年：港湾統計(年報)、2017～2019年：中国地方整備局調べ